

日本年金機構等が提供する年金関係情報の見方（簡易版）

新法障害基礎年金・障害厚生年金情報

年金の種類□年金コード	※表 1	1350
-------------	------	------

年金の種類・名称と年金コード

注意！ 年金は日本年金機構のほか、共済組合等からも支給されている場合があります。それぞれの情報保有機関へ情報照会を行う必要が生じる場合があります。

①

年金基本情報	
受給年金制度情報	国民年金
年金決定年月日	2016-03-15
受給権発生年月日	2016-01-01
受給権失権年月日	Reason Of Null
年金支給停止理由コード	※表 2 00
年金支給停止開始年月	000000
年金支給停止終了年月	000000

①

年金基本情報（詳細はマニュアルの23ページ～25ページをご確認下さい。）

年金の受給権に関する内容を表示します。

- 年金決定年月日：年金の決定（裁定）を行った年月日を表示します。
- 受給権発生年月日：老齢年金は年齢到達日、障害年金は障害認定日等、遺族年金は死亡日となります。
- 受給権失権年月日：死亡日や年齢到達など、年金を受ける権利が消滅しているときにその年月日を表示します。
- 年金支給停止理由コード・開始年月・終了年月：何らかの理由で年金の支給が停止されているときに、その理由のコード及びその期間を表示します。

要確認！ 国民年金（基礎年金）と厚生年金を合わせて受給している場合は、続けて内容を表示します。

②

年金基本情報	
受給年金制度情報	厚生年金
有期固定年数	3
認定年	2018
障害初診年月日	2014-07-01
障害等級コード	2
障害傷病名コード（その1）	※表 3 06
障害診断書コード（その1）	※表 4 7

②

障害年金に関する情報（詳細はマニュアルの32ページ～35ページをご確認下さい。）

障害年金に関する情報については、障害の内容に関する固有のデータ項目を表示します。

- 有期固定年数・認定年：障害年金の受給者は、決められた時期に、障害の現状に関する診断書の提出を行います。有期固定年数は診断書を提出するサイクルとなる年数を、認定年は有期固定年数が認定された直近の年を表示します。（左例では2021年が次回診断書提出年です。）
※有期固定年数が「0」で、診断書コードが「1」の場合は、永久認定であり診断書の提出を必要としない方です。
- 障害初診年月日：障害の原因となった傷病について、初めて医師又は歯科医師の診察を受けた日を表示します。
- 障害等級コード：障害年金の受給権者の障害の程度を表す障害等級について、法令に規定された障害等級を表示します。障害基礎年金の場合は1級又は2級、障害厚生年金の場合は1～3級となります。
- 障害傷病名コード：どのような障害の状態認定が行われたかについて、障害の傷病名を傷病名コードで表示します。
- 障害診断書コード：障害年金の受給権者が提出する医師の診断書の種類を表す診断書コードを表示します。

③

年金基本額情報	
年金支給開始年月日	2018-04-01
年金支給額決定変更理由コードA	※表 5 F2
年金支給額決定変更理由コードB	00
子の加給年金額情報（国民年金）	224300
年金支給停止額情報（国民年金）	0
年金支給額情報（国民年金）	1003600
配偶者加給年金額情報（厚生年金）	224300
年金支給停止額情報（厚生年金）	224300
年金支給額情報（厚生年金）	548600

③

年金基本額情報（詳細はマニュアルの25ページ～28ページをご確認下さい。）

年金の支給額・支給停止額（年額）の内容及び年金額が変更された理由を表示します。

- 年金支給開始年月日：年金支給額が決定・変更された月を確認することができます（決定・変更後の年金額で支給が開始される年月分の1日を表示）。
- 年金支給額決定変更理由コードA・B：年金額の決定・変更の事由をコード値で表示します。裏面表5のA「原因コード」、B「事由コード」を組み合わせて理由を特定します。
- 年金支給額・停止額情報：年金の支給額及び支給停止額を表示します。月単位の支給額を算定する必要がある場合は、その該当月に受給権を有している年金支給額を12で割った金額となります。
- 子の加給年金額情報・配偶者加給年金額情報：子や配偶者等に対する年金額の加算額に関する情報となります。これらのほか、遺族年金の場合の寡婦加算額などもあります。

注意！ 年金支給額は年額ですが、支給は月単位で行います。年金支給額の変更事由が発生した場合、年の途中月で変更が行われるので、表示された年金支給額が1年間に支払われる（支払われた）金額と一致するとは限りません。（毎年、原則として4月分の年金額において賃金・物価変動率等による改定が行われる可能性があります。）

注意！ 年金支給額と年金支給停止額は別々に表示します。支給停止が無かった場合の総額を知りたいときは、年金支給額と年金支給停止額を足し合わせる必要があります。また、加給年金（加算）額は、年金基本額（年金支給額情報＋年金支給停止額）の内訳として表示（再掲）します。年金支給額として算入しない（足し上げない）ように注意してください。
※左図の例では、2018年4月分から障害基礎年金1,003,600円＋障害厚生年金548,600円（年額）を支給。年金基本額は障害基礎年金1,003,600円＋障害厚生年金772,900円（年額）となります。

注意！ 1月～12月の年金収入額を確認するような事務手続の場合、範囲指定により情報照会を行うときは、その対象年の前年4月時点を含めた期間を照会対象期間とするなどの注意が必要です。（マニュアル26ページ参照）

要確認！ 範囲指定した期間内に支給額の変更履歴が複数回ある場合は、繰り返し情報を表示します。

④

年金支払情報	
年金支払年月日	2018-10-15
年金支払額情報	253700
介護保険料額情報	5000
年金支払情報	
年金支払年月日	2018-08-15
年金支払額情報	253700
介護保険料額情報	5000
年金支払情報	
年金支払年月日	2018-06-15
年金支払額情報	253700

④

年金支払情報（詳細はマニュアルの29ページ～31ページをご確認下さい。）

日本年金機構等から年金受給者の銀行口座等に振り込まれる年金の支払額を表示します。

年金の支払は、原則、偶数月の15日（土日祝の場合は直前の平日）に前2か月分の支払を行います。

- 年金支払年月日：年金の支払が行われた年月日を表示します。
- 年金支払額情報：年金受給者の銀行口座等に実際に振り込まれる金額を表示します。
- 介護保険料額情報等：各支払期の年金支払額から特別徴収（天引き）される各種保険料額等を表示します。所得税額、介護保険料額、国民健康保険料額、後期高齢者医療保険料額、住民税額があります。

注意！ 新規裁定者や遡及して年金額の変更があった場合には、奇数月であっても支払いがあったり、3か月以上前の月分の年金が一括で支払われる場合があります。
※地共済（公立学校を除く）については、その場合でも本来の各支払期に割り振られて表示されます。

注意！ 年金支払額は特別徴収される金額を差し引いた後の実際に銀行口座等に振り込まれる実額を表示します。差引前の本来の年金支払額を知りたいときは、年金支払額と各種保険料額等を足し合わせる必要があります。
※左図の例で2018年10月15日においては、本来の支払額258,700円から、介護保険料が5,000円特別徴収されて、253,700円が年金受給者の銀行口座等に振り込まれる金額となります。

要確認！ 範囲指定した期間内に年金の支払いが複数回ある場合は、繰り返し情報を表示します。

要確認！ 年金受給者の中には、同時に複数の種類の年金を受給している場合があります。そのような場合、左図の例のように、1つの年金情報（左図では障害年金）のデータセットが表示された後に、続けて別の年金情報（左図では遺族年金）のデータセットが表示されます。特に、共済組合等から提供される情報では、厚生年金と合わせて共済年金（職域加算部分の経過措置）が支給されるケースが多いので、確認が必要です。
※異なる情報保有機関（日本年金機構と共済組合等）から年金を受給している場合は、続けて表示されません。それぞれの情報保有機関へ情報照会を行う必要が生じる場合があります。

※照会結果のイメージは、特定個人情報番号64の日本年金機構のデータ項目を基に主なものを抜粋して作成しています。特定個人情報の種類や事務手続、また共済組合等から提供されるデータ項目の表示は、これと異なる場合があるのでご注意ください。

日本年金機構における年金関係情報の副本登録のサイクルについて（詳細はマニュアルの50ページ～57ページ参照）

日本年金機構における中間サーバーへの副本登録は、日次ではなく月次で行います。
また、月次の副本登録の処理は、1日ではなく、数日にわたって行われるため、副本情報の更新期間中に情報照会を行った場合、情報が更新済みの項目と未更新の項目が混在することがあるので注意してください。

○年金給付情報の副本登録のサイクル

【更新する情報】
年金支払情報と年金支払情報以外（年金基本情報や年金基本額情報等）の情報を分けて更新
【スケジュール】

- ・年金支払情報
N月に支払う情報をN月の月末（第17営業日※）までに更新
 - ・年金支払情報以外
N－1月分までの年金基本額等の情報をN月の月末（第17営業日※）までに更新
例）平成30年4月15日に年金支払が行われる年金給付情報（平成30年3月分までの年金基本額情報等と平成30年4月に支払う年金支払情報）は平成30年4月末までに副本登録されます。
- 【過去記録の提供】
年金支払情報は2年前まで、年金支払情報以外の情報は5年前※まで
※ 24記録を超える情報を保有している者については、古い記録から抹消されていきます。

【毎年の賃金・物価変動率等による年金額改定】

法律に基づく毎年の年金額の改定が行われた際の情報の更新（副本登録）は、4月に改定が行われた場合、年金支払情報以外を5月の月末（第17営業日）までに、年金支払情報を6月の月末（第17営業日）までに更新します。

※ 共済組合等の副本登録についてはそれぞれの機関のマニュアルをご確認下さい。

副本登録スケジュールの一例

副本登録スケジュール(例:平成30年4月)						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	第1営業日	第2営業日	第3営業日	第4営業日	第5営業日	
8	9	10	11	12	13	14
	第6営業日	第7営業日	第8営業日	第9営業日	第10営業日	
		基礎年金番号・年金資格記録情報・障害手当金情報登録				
15	16	17	18	19	20	21
	第11営業日	第12営業日	第13営業日	第14営業日	第15営業日	
			老福・特障情報登録	年金給付情報(支払記録)登録		
				年金給付情報(支払記録以外)		
22	23	24	25	26	27	28
	第16営業日	第17営業日	第18営業日	第19営業日	第20営業日	
	年金給付情報(支払記録)登録		年金生活者支援給付金情報登録			
	年金給付情報(支払記録以外)					
29	30					

注意！ 年金給付情報について、更新された最新の情報を確認したい場合は、**18営業日以降**に確認を行う必要があります。

コード値一覧表（抜粋）

※共済組合等の各コード値は、提供項目としていない場合や、異なる場合がありますのでそれぞれの機関のマニュアルをご確認下さい。

表 1 年金コード		
年金コード	制度	年金種別
115X	新法	老齢基礎・老齢厚生年金
135X		障害基礎・障害厚生年金
145X		遺族基礎・遺族厚生年金
535X	新法短期	障害基礎年金
595X		寡婦年金
635X		障害基礎年金（20歳前）
645X		遺族基礎年金
117X	新法共済	退職共済年金
137X		障害共済年金
147X		遺族共済年金
※共済組合等では、受給権発生が被用者年金一元化（H27.10）以降の場合、「経過的職域加算額」となります。		
112X	新法	老齢厚生年金（国共済）
132X		障害厚生年金（国共済）
142X		遺族厚生年金（国共済）
113X	新法	老齢厚生年金（地共済）
133X		障害厚生年金（地共済）
143X		遺族厚生年金（地共済）
114X	新法	老齢厚生年金（私学共済）
134X		障害厚生年金（私学共済）
144X		遺族厚生年金（私学共済）
「X」は通常「0」を表示しますが、同一年金の2度目以降の年金決定の場合は1以上の数字を表示します。		

表 2 停止理由コード	
コード	内 容
<新法> 以下の年金コードに該当する場合 115X 135X 145X	
00	停止なし
01	資格取得（共済以外）による在職停止
02	併給選択による一部停止、船保上の一部停止
03	併給選択による全額停止、共済年金受給による全額停止
11	障害不該当
12	障害基礎3級該当
14	生計同一の父母がいることによる子の遺族基礎年金停止
21	障害年金との併給による一部停止
31	失業給付受給による支給停止
32	高年齢雇用継続給付受給による支給停止
70	老齢厚生(退職共済)年金相当額の遺族厚生年金支給停止

表 3 障害傷病名コード		
コード	内容	備 考
<船員保険以外の制度> 以下の年金コードに該当する場合 033X 135X 062X 265X 535X 635X 036X 137X		
06	精神障害	
07	脳血管疾患	脳動脈、脳実質外動脈の狭窄・狭塞を含む。
08	眼の疾患	外傷を含む
09	循環器系の疾患	高血圧性疾患、レイノ症候群、心臓病等を含む。
12	上肢の外傷	上肢帯を含む。
13	下肢の外傷	骨盤帯を含む。
16	耳の疾患	外傷を含む。
21	腎疾患	
22	肝疾患	
23	消化器系の疾患	腸閉塞、腹膜ゆ着、胆のう、胆道、脾の疾患を含む。
25	糖尿病	糖尿病性の各疾患を含む。
26	新生物	ホジキン病、多発性骨髄腫、白血病等を含む。

表 4 障害診断書コード	
コード	（ 内 容 ）
<新法> 以下の年金コードに該当する場合 135X 535X 635X 137X	
1	障害の状態が固定しているため診断書の提出が不要
2	呼吸器疾患
3	循環器疾患
4	聴力・口腔
5	眼の障害
6	肢体障害
7	精神疾患
8	腎疾患・肝疾患・糖尿病
9	血液・造血器・その他

表 5 変更理由コード		
原因コード	事由コード	内容
<新法> 以下の年金コードに該当する場合 115X 135X 145X		
50 (失権)	12	子の受給権消滅による妻（夫）の遺族基礎失権
	14	65歳到達による特別支給の老齢厚生年金失権
	02	併給選択による一部停止、船保上の一部停止
	03	共済年金受給による全額停止、併給選択による全額停止
51 (支給停止)	11	障害不該当
	12	障害基礎3級該当
	14	生計同一の父母がいることによる子の遺族基礎停止
	21	障害年金との併給による一部停止
	31	失業給付受給による支給停止
	32	高年齢雇用継続給付受給による支給停止
	70	老齢厚生(退職共済)年金相当額の遺族厚生年金支給停止
	02	（併給選択による一部停止、船保上の一部停止）の解除
52 (停止解除)	03	（共済年金受給による全額停止、併給選択による全額停止）の解除
	11	（障害不該当による停止）の解除
	12	障害基礎3級でなくなったことによる停止解除
	14	（生計同一の父母がいることによる子の遺族基礎停止）の解除
	21	（障害年金との併給による一部停止）の解除
	31	（失業給付受給による支給停止）の解除
	32	（高年齢雇用継続給付受給による支給停止）の解除
	70	(老齢厚生(退職共済)相当額の遺族厚生支給停止)解除
54 (年金額改定)	01	加給年金対象者の死亡
	03	配偶者65歳到達、子18歳年度末到達（船保上以外の障害の子20歳到達）
	04	加給年金対象者追加
	05	胎児出生
	29	加算額（中高齢寡婦加算）の65歳到達による不該当又は減額改定
	33	老齢基礎年金加算額（振替加算）開始
	36	老齢満了による老齢基礎年金加算額（振替加算）不該当
	37	老齢満了又は障害2級以上による加給金開始
55 (基本年金額改定)	39	加算額（中高齢寡婦加算）開始
	05	資格喪失後1ヶ月経過改定
	60	基金代行返上改定
56 (障害額改定)	70	老齢厚生(退職共済)の基本額改定等による遺族厚生年金の改定
	07	障害等級変更
	17	併合認定
65 (基礎年金・厚生年金 裁定請求)	01	老齢基礎年金・老齢厚生年金の65歳到達による裁定
	02	老齢基礎年金繰り上げ裁定
	03	老齢基礎年金・老齢厚生年金繰下裁定
	04	老齢基礎年金繰り上げ受給者の厚年期間取得による特別支給老齢厚生年金裁定
	05	老齢基礎年金繰り上げ受給者の65歳到達による老齢厚生年金裁定
	11	老齢基礎年金繰下げ希望者の老齢厚生年金裁定
	12	老齢基礎年金の一部繰上げ裁定
	13	老齢基礎年金繰下げ裁定
	14	老齢基礎年金のみ受給者の65歳以降厚年期間取得による老齢厚生年金裁定
	21	老齢基礎年金の65歳到達による裁定
	22	老齢基礎年金繰上げ受給者の老齢厚生年金繰上げ裁定
98 F0 F2	23	老齢厚生年金の繰下げ裁定
	00	新規裁定又は再裁定
	00	受給権発生
	00	法改正による年金額改定